

教材・教具名	パネルシアター「夢わかば」
対象児童生徒	小学部のびのび学級
制作のねらい	<p>本グループでは、集団学習で絵本の読み聞かせに取り組んでいる。学習の締めくくりとしていつも読んでいるのが「夢わかば」（二本松はじめ作，田村太絵）である。音楽にのせて読み進めていくこともあり，子どもたちが大好きな絵本だが，集団で読むには本の大きさが小さいために集中が途切れやすく，描かれている絵や言葉の意味を捉えることが難しい。そこで，パネルシアターを作成し，「夢の種」が大きく育つ様子をイメージしやすくするとともに，画面が動くことにより視覚的なおもしろさを味わうことができることを期待して制作に取り組んだ。</p>
使用法 及び 効果	<p>（用意するもの）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 CD（ピアノやギター等の生演奏でもよい。） 2 パネルボード（舞台） 3 Pペーパー（絵人形） <p>（使用方法）</p> <p>「夢わかば」の歌を歌いながら，物語に沿ってPペーパーを張ったり取ったりする。</p> <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の理解を補ったり広げたりすることができる。 ・ 物語の世界へ引き込むことができる。 ・ パネルを媒介に，教師や子ども同士のコミュニケーションを広げることができる。
作り方	<p>（材料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Pペーパー ・ ポスターカラー ・ 筆（大・中・小） ・ 型紙（手作り） ・ 鉛筆 ・ マジック（黒太） <p>（手順）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 効果等を加味しながら，型紙を作成する。 2 Pペーパーに，鉛筆で下書きをする。 3 ポスターカラーで色をつける。（水少なめ） 4 マジックで，線を書く。 5 布やビニールを使って，仕掛けを作る。 6 実際に，演じながら修正を加える。
使用に際しての 留意点 ・ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作よりも演じ方が難しい。絵本の内容やおもしろさを十分に理解する必要がある。一人での操作が難しい場合には，二人で分担して進めるとよい。子どもたちの反応や表情を見ながら演じたい。

教材・教具写真



伸びる夢わかば



全体像